



「宿泊保育」と「虫」

たいへんな猛暑の中、1学期の最後の大イベント、年長組の「宿泊保育」に行ってみりました。大自然には子ども先生方もかいません。子ども先生方も共に育つ「共育」のまさに実践の場となり、参加した者全員にとりまして充実した経験となりました。

年少組の保護者様からは「年少組で、まだまだ先なんですけど、ブログを拝見し年長になったら一人でいけるのかしらと心配以上に楽しみになりました。」年長組の保護者様からは「心配で不安だらけでしたが、ブログに写真がたくさんありましたので、安心しました。」また、ある保護者様からお手紙をいただきました。先生方と大変うれしく拝見し、大きな励みとなりました。

今月はそのお手紙をご紹介します。

(一部抜粋)

。。。。。。。「虫をたくさん捕まえたよ！」娘が宿泊保育の感想を話してくれた際にまず発した言葉です。とびきりの笑顔で大変誇らしげに話してくれました。

もともと、虫があまり得意でなかった娘でしたので、この言葉はあまりにも以外で、正直耳を疑ったほどです。

しかし、帰宅後タイミング良く知り合いの方にカブトムシを頂き、きちんと飼えるのかもわからないまま宿泊保育で持ち帰ってきた虫かごに入れたところ娘がカブトムシを触り、一生懸命お世話をする姿を目のあたりにしました。

私は、これにもとても驚き、ああ、娘は宿泊保育でとても貴重な体験をしたのだと改めて思いました。その後はカブトムシに「カブノツン」と名前を付けて毎日観察をするのが楽しいようです。

今回、このような娘の思いもかけない姿を見ることができ、親としても大きな発見につながりました。そしてなによりもこのような機会を与えて下さった先生方には感謝の気持ちでいっぱいでございます。

年長の時がどんどん過ぎてしまうのが寂しく感じるがありますが、一日一日を大切に。。。。。。。

心が温かくなりました。「こちらこそありがとうございました。」

1日目の暑さは33℃で安全面も考え迷いましたが、3年前の暑さの様子と変わらなかったため、昆虫の森に出かけました。どの子どももほっぺを真っ赤にして帰ってくると一斉に虫自慢が始まりました。その時の目はどの子どもも初めて虫を見たように全員が生き生きしていました。行くと判断して良かったと心から思いました。

2日目の暑さは朝からすでに30℃越え、36℃予報が出ておりましたし、前日の疲れも配慮し、予定を変更し日影での虫探しでした。大きなカブトムシが見つかったりと、大歓声が聞こえました。暑さや水分を十分に配慮したことで安全に行ってくれたと考えております。

ご家庭でも、夏休みの間、暑さや水分を十分に配慮し健康にお過ごしくださいませ。

